

令和3年度 予算案

3年度予算案がまとまり、市議会（定例会）で審議されています。ここではその概要を紹介。

「3年度当初予算の概要」は、市役所2階の市政情報コーナーの他、市ホームページで公開しています。

問い合わせ
企画財政課 ☎072(740)1130

一般会計の主な内容

3年度の一般会計の予算規模は563億円。歳入では、市税収入は新型コロナウイルス感染症の影響で、約5億円減少するものの、臨時財政対策債が増加したことなどにより、使途が制限されない一般財源総額は増加すると見込んでいます。

また、国庫支出金はワクチン接種に係る国庫負担金の計上などにより約10億円増加する他、市債は（仮称）市立川西北こども園整備や橋りょう老朽化対策などのための地方債借入と臨時財政対策債の増額により前年度から約5億円増加しています。

一方で、基金（貯金）繰入金は約11億円で、前年度から約3億円減少しています。これは予算の収支不足分を補うための繰入が減少したことによるものです。

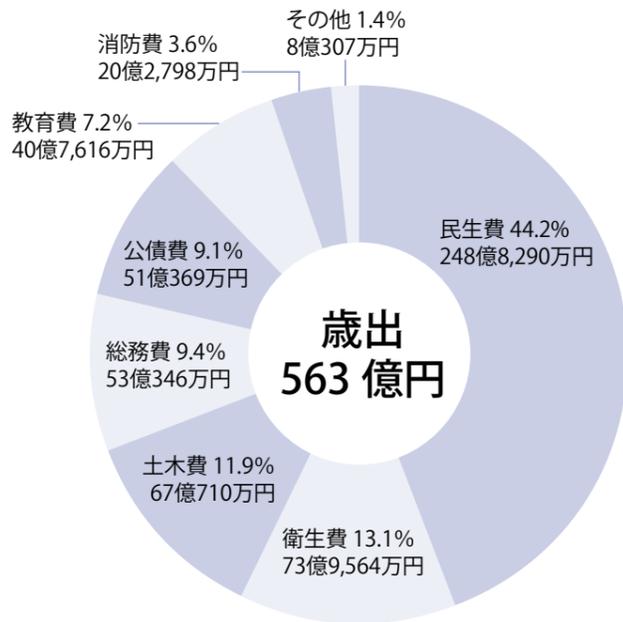
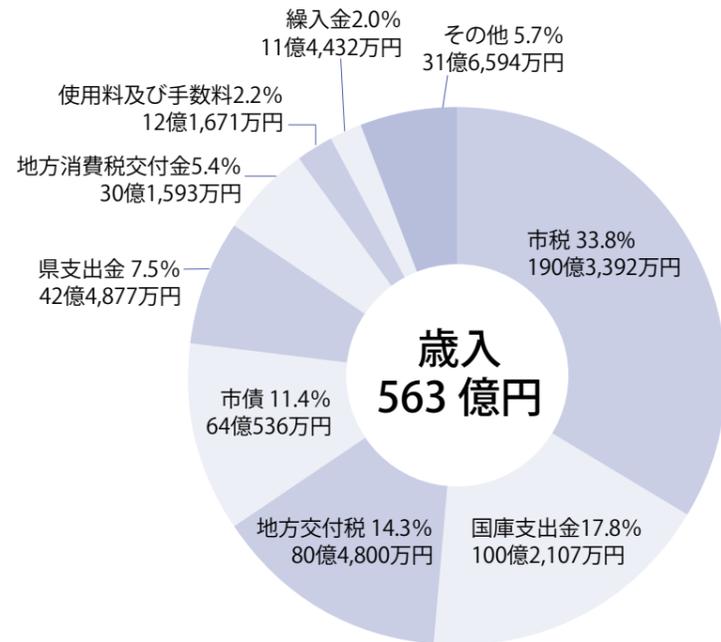
歳出では、医療・介護・子育てや公共施設の老朽化対策など、市民の暮らしを守るため経常にかかる費用に予算の大部分が使われます。

3年度は、民生費が障害福祉サービス（約45億円）や認定こども園整備（約6億円）などにより前年度と比べて約13億円増加。

また、衛生費が（仮称）川西リハビリテーション病院整備に向けた準備などのための病院事業会計に対する補助金（約13億円）やワクチン接種（約5億円）により約7億円増加し、民生費と衛生費が歳出の半分以上（57.3%）と大きな割合を占めています。

教育費は、2年度3月補正に前倒し計上をしたことで予算額は小さくなっています。

□一般会計の歳入と歳出



□市税収入

税目	3年度 当初予算	2年度 当初予算
市民税	92億6,579万円	96億8,561万円
個人市民税	86億7,862万円	89億6,758万円
法人市民税	5億8,717万円	7億1,803万円
固定資産税	72億9,038万円	73億4,481万円
軽自動車税	2億1,786万円	2億2,684万円
市たばこ税	6億3,783万円	6億5,456万円
入湯税	62万円	60万円
都市計画税	16億2,143万円	16億5,044万円
合計	190億3,392万円	195億6,285万円

※グラフ中の数値は、端数の関係で合計が一致しない場合があります

令和3年度 施政方針

第1回市議会（定例会）で、越田謙治郎市長が3年度の施政方針を表明しました。

市長として3年目を迎えて

令和という新しい時代で、初めての新年を迎えた令和2年度を「かわにし新時代始動」の年と位置付け、新たな時代に向け本格的なスタートを宣言しました。市民とともに作り上げた「川西市第2次総合戦略」のスタートに伴い、多くの新規事業を盛り込むなど、行政運営もまちづくりも大きく前に進んでいく手ごたえを感じていました。しかし、1年前に想像した社会の姿とは全く異なる風景が、今、目の前に広がっています。

2度の緊急事態宣言により、日常生活で当たり前だったことが当たり前ではなくなりました。医療はひっ迫し、救急搬送は困難を極めています。経済はダメージを受け、経営者も被雇用者も深刻な経済状況になっています。子どもたちの大切な時間や学びの

機会は奪われ、地域で市民同士がふれあう機会は激減しました。病院や福祉施設での面会、大切な人とのお別れの時間さえ制限されることが珍しいことではなくなりました。このような現状において、私たちがまちづくりの中でめざす「何気ない日常に幸せを感じる」ことが本場に価値のある尊いものだったと改めて痛感しています。令和3年度は改めて「何気ない日常に幸せを感じるまちづくり」をめざし、市民とともにコロナ禍を乗り越える1年にします。

現時点の社会および経済情勢
日本経済はコロナの影響により、厳しい状況にあります。川西市においても、全体としての景気は大幅に悪化していると考えています。市の財政では、個人所得と法人収益の減少による市民税の減収や、消費や商取引などに伴う税収

入が影響を受けることが見込まれます。

先行きが不透明になることで、出生率の低下による人口減少と少子高齢化が一層進むことが予想される他、外出自粛により高齢者の認知症やフレイルが進行するなど健康面の影響も懸念されます。

コロナ以外にも社会の課題は山積しています。SDGsへの取り組みや2050年のカーボンニュートラルをめざした脱炭素化も着実に進める必要があります。また、東日本大震災から10年目に当たる本年、2月13日深夜に福島県沖を震源とする

最大震度6強の地震が発生し、コロナ禍の中で多数の住民が避難を余儀なくされました。改めて、自然災害への備えが重要だと感じています。

今後、ウィズコロナ社会の中で、これらの課題に向き合いつながりながら生きていかなければなりません。過去のマスクのない社会に戻ることをめざすのではなく、コロナによる変化を新たな社会をつくるためのきっかけと捉え、具体的な行動を起こしていきます。

3年度施政方針の全文は市ホームページから

施政方針の全文は市役所2階の市政情報コーナーや各公民館、市ホームページ（下の2次元コードからアクセス可）で公開しています。



問い合わせ
企画財政課
☎072(740)1130